



2024年1月12日  
第88号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## JR東労組横浜地本 2024年「新春旗開き」開催 助川執行委員長挨拶

昨一年間、東労組としての職場から運動をつくりだしていただきました組合員の皆さんと、支えていただいたご家族の皆様にご心からお礼と感謝を申し上げます。

2024年は過酷な幕開けとなりました。元日の能登半島地震で多くの方々が被災しました。無事であっても街は瓦礫に埋もれ避難生活を余儀なくされています。被災された方々に哀悼の意を表するとともに、お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げます。2日にはJALの旅客機と海上保安機が滑走路上で衝突炎上という重大事故が発生しました。私たちは昨一年間で安全な職場風土を實現し安全哲学の再構築をめざしてきました。命を守ることを最大の価値基軸に据え、災害・事故からお客様と社員を守るために安全第一主義を実践していこうではありませんか。

横浜地本は昨年12月に組織拡大を實現することができました。東労組への加入を心から歓迎いたします。事務手続き一つひとつでも杜撰で社員を大事にしない管理者より真剣に話を聞き親身になつてくれた東労組組合員の存在に加入を決意してくれました。新たな仲間と共に更なる組織拡大をめざします。

2024年は日本の将来を左右する岐路になると思います。ロシアとウクライナの戦争。そして、イスラエルとパレスチナ「ハマス」との武力衝突で罪もない人々への殺戮と環境破壊が止まりません。一つの戦争は一つ間違うと世界を破滅に導くかもしれません。情勢如何では米国ファーストの日本に深刻な打撃を与えかねません。その日本は台湾有事を想定し軍備拡張を図り、戦争をする国へと着々と変貌しています。加えて日本の将来に影を落とすのは労働力不足、出生率の低下など経済の失速が今後深刻化し、1000以上の地方自治体が消滅すると予測されています。その責任は問題を先送りし続けてきた政府にあると思います。有権者の政治不信や政治意識の低下が「政治屋」を生み、その責任は私たち一人ひとりにあります。子供たちの未来に責任を果たす大人として、改憲勢力が2/3以上を占める国会で、憲法改悪を阻止するためにも憲法改正の国民投票で私たちが反対にマルをつける仲間を拡げます。

2024年の展望はすべての組合員の対話と職場の運動にこだわって切り拓きましょう。春闘、ダイヤ改正、あらたな組織再編や業務の見直し、ワンマン化の課題に真剣に向き合い改善と組織拡大を勝ち取りましょう。